

1 東京都観光産業振興実行プラン策定の意義

人口減少と少子高齢化によって、我が国における今後の内需の大幅な伸びが期待できなくなる中、東京の将来に向けた持続的な成長と発展を実現する上で、観光の果たす役割の重要性はこれまでになく高まっている。

観光の振興は、海外からのインバウンド需要を取り込むことにつながり、旅行業をはじめ、交通機関や宿泊業のほか飲食業を含めた幅広い産業に経済面の波及効果と雇用の創出等を生み出し、地域の活性化にも寄与する取組である。

また、世界が注目する東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）に向けて、国内外から多くの旅行者を迎え入れ、東京の多様な魅力に触れる機会を増やすことは、旅行地としての東京に対する関心や理解を深めるとともに、東京の国際的なプレゼンスの向上や、日本各地の活性化にもつながる。

その一方で、東京の観光を取り巻く環境はこの数年の間で急速な変化が進んでいる。2016 年には都内を訪れる外国人旅行者数が過去最高を記録したものの、その消費額は前年に比べ減少に転じるなど、外国人旅行者の消費動向には変化がみられる。また、ICT 技術を活用した観光情報の発信や、街なかでの観光案内、バリアフリー化、本年 6 月に施行される住宅宿泊事業法への対応など、旅行者の受入環境の整備が重要なテーマとなっている。さらに、これまでとは異なる新しい発想を持ち観光資源を作り出していく努力も必要性を増している。

東京都（以下「都」という。）はこうした観光を巡る急速な環境の変化に迅速かつ的確な対応を図るため、中長期的な視点に立ち、総合的かつ体系的な施策の展開を目指し、昨年度より「東京都観光産業振興実行プラン」（以下「観光実行プラン」という。）を策定しており、状況の変化に臨機応変に対応するため、毎年度内容を更新していくこととしている。

この観光実行プランは、2016 年 12 月に公表した「都民ファーストでつくる『新しい東京』～2020 年に向けた実行プラン～」の観光施策の分野を採り上げて、今後の取組の方向性、将来に向けた目標、翌年度に実施する具体的な観光施策等を示すものである。

都は、「PRIME 観光都市・東京」の実現に向け、この観光実行プランに基づいて様々な観光施策を戦略的に展開していく。